

2020年度 愛知県歯科衛生士会研修会 シラバス

研修テーマ	<u>歯科衛生士も摂食嚥下の精密評価を理解しよう</u>		
講師	谷口裕重		
日程・時間数	8月 23日 240分	日衛単位	A-b-II-A (2単位) A-b-IV-A (2単位)
一般目標	摂食嚥下の基礎的な解剖・生理について理解し、摂食嚥下障害を有する対象者の問題点が把握できるようになる。また精密検査を歯科医師とともに評価できるよう評価方法を習得する。		
行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 摂食嚥下機能に関する解剖学や生理学、摂食嚥下のメカニズムの基礎知識を理解し、説明することができる 2) 嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査の利点・欠点について理解し、説明することができる 3) 嚥下内視鏡検査を動画上から評価し、問題点を見つけ出すことができる 4) 嚥下造影検査を動画上から評価し、問題点を見つけ出すことができる 		
学習方略	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義形式 ・ 講義前後で嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査の理解度を確認する（プレ・ポストテスト形式） 		
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト		
参考図書等			

2020年度 愛知県歯科衛生士会研修会 シラバス

研修テーマ	嚥下障害患者に対する”効果的”な介入		
講師	大島亜希子、松永奈津希		
日程・時間数	8月 30日	240分	日衛単位
	A- b -IV-H (4単位)		
一般目標	摂食嚥下障害患者に対して歯科衛生士が介入するためのアセスメント方法や問題点の分析、計画立案方法、計画に基づいた訓練の実施と訓練効果の評価に至るプロセスを習得する		
行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1)摂食嚥下障害患者の病態・障害の程度や心理・環境面を含めてアセスメントを行い、問題点を分析することができる 2)摂食嚥下障害患者に対する介入方法を、計画立案することができる 3)計画に基づいて介入し、実施効果を評価することができる 4)歯科衛生ケアプロセスでの症例展開を理解することができる 		
学習方略	1症例120分 講義として症例を提示 (受講者参加形式)		
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト		
参考図書			

2020年度 愛知県歯科衛生士会研修会 シラバス

研修テーマ	<p style="text-align: center;"><u>対応できるようになろう！</u></p> <p style="text-align: center;">小児・障害児の摂食嚥下に関する知識と介入</p>		
講師	加藤篤 柴田享子		
日程・時間数	9月 27日	240分	<p style="text-align: center;">日衛単位</p> A-b-III-A (1単位) C-c-XI-A (3単位)
一般目標	小児・障害児の摂食嚥下機能の発達・獲得および摂食嚥下障害が生じる病態を理解し、摂食嚥下障害を有する小児・障害児の成長に合わせた介入方法を習得する。		
行動目標	1)摂食嚥下機能の発達を理解し、説明ができる 2)発達期における摂食嚥下障害の特徴を理解し、説明ができる 3)障害別に摂食嚥下障害の特徴を理解し、説明ができる 4)小児・障害児の摂食嚥下機能評価と摂食機能療法の実施について理解し、説明ができる 5)歯科衛生ケアプロセスに沿ってアセスメントから計画立案まで行える		
学習方略	講義形式 症例提示		
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト		
参考図書等			

2020愛知県歯科衛生士会 研修会 シラバス

研修テーマ	<p style="text-align: center;"> <u>歯科衛生士にも分かりやすい</u> <u>がんの病態と支持療法、緩和・終末期の知識</u> <u>症例から学ぶ がん患者への支持療法と</u> <u>がん終末期への対応方法</u> </p>			
講師	石本多実 松木里沙			
日程・時間数	10月	18日	120分×2	日衛単位 <small>C-b-1-B(2単位) C-b-1-G・C-c-VIII-F (計2単位)</small>
一般目標	がん治療期から緩和医療、終末期に至るまで、医療職種としての基本的な考え方や対応方法を学び、症例を通して、歯科衛生士として終末期の患者にどう関わることができるか考えることができる			
行動目標	1)がんの病態と支持療法について理解し、説明できる 2)がん終末期に現れる身体的・精神的変化について、説明できる 3)がん緩和・終末期の対象者に合わせた歯科衛生士の介入を理解することができる 4)歯科衛生ケアプロセスに沿ってアセスメントから計画立案まで行える 5)他職種との連携方法について、介入計画に含めることができる			
学習方略	講義形式(120分) 症例提示(120分)			
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト			
参考図書等				

2020年度 愛知県歯科衛生士会研修会 シラバス

研修タイトル	<u>日常臨床におけるリスク管理を学ぶ！</u> <u>呼吸器の基礎知識と肺理学について</u>		
講師	渡邊理沙		
日程・時間数	11月 22日 240分	日衛単位	C-c-VI-B C-c-VI-E (計4単位)
一般目標	歯科衛生士が日常的なリスク管理を行うために、呼吸器や肺理学についての基礎知識を習得する。また、呼吸器疾患や呼吸に留意する必要がある対象者への配慮ができるよう知識を習得する。		
行動目標	1)呼吸器の構造（解剖）機能（生理）を理解し、説明できる 2)呼吸器疾患の発症機序を理解し、説明ができる 3)呼吸器症状の発生機序と原因疾患を説明できる 4)人工呼吸器について理解し、説明できる 5)胸部聴診の目的を理解し、正常音と異常音が説明できる 6)聴診器を使用して呼吸音を聴取できる		
学習方略	講義形式 実習形式（聴診）		
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト		
参考図書			

2020愛知県歯科衛生士会 研修会 シラバス

研修タイトル	<u>患者さんの全身疾患を把握しよう！</u> フレイル・サルコペニアとリハ栄養の知識		
講師	谷口めぐみ		
日程・時間数	11月 29日	120分	日衛単位 C-c-V-C(2単位)
一般目標	フレイルとサルコペニアに関する基礎的な知識から、栄養を含めた生活指導などの応用的な知識を習得し、診療所、病院、在宅などの様々な臨床現場において歯科衛生士としての介入方法を検討することができる		
行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1)フレイルとサルコペニア各々の病態や進行過程を理解し、説明できる 2)栄養アセスメントを理解、説明でき、低栄養の原因を考察することができる 3)リハビリテーションを行うために必要な栄養管理の概念を理解し説明ができる 		
学習方略	講義形式 (120分)		
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト		
参考図書等			

2020愛知県歯科衛生士会 研修会 シラバス

研修タイトル	歯科衛生士が行う口腔機能低下症の実際		
講師	藤田未来		
日程・時間数	11月 29日	120分	日衛単位 C-c-IV-E(2単位)
一般目標	口腔機能低下を疑う患者に対して、歯科衛生士が口腔機能の検査を行い、問題点を分析・抽出、口腔機能管理を実施するプロセスを習得する		
行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1)口腔機能低下症の考え方について、説明できる 2)口腔機能の検査・方法について、説明できる 3)口腔機能低下症のそれぞれの項目に対して、問題点を分析し介入方法を考察することができる 4)歯科衛生ケアプロセスでの症例展開を理解することができる 		
学習方略	講義形式，症例提示（120分）		
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト		
参考図書等			

2020年度 愛知県歯科衛生士会研修会 シラバス

研修タイトル	<u>歯科衛生士もできる！口腔粘膜疾患の評価方法</u>		
講師	長尾徹		
日程・時間数	12月 13日	120分	日衛単位 B-I(2単位)
一般目標	日常臨床において口腔粘膜の異常を見極めるために、口腔粘膜の病態やその進行過程を理解し、歯科衛生士がスクリーニングレベルで評価できる方法を習得する		
行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1)口腔粘膜疾患の種類と特徴を理解し、説明ができる 2)口腔がんと前がん病変を理解し、説明ができる 3)口腔がんと生活習慣について理解し、説明ができる 4)口腔粘膜疾患（口腔がん含む）の予防法を理解し、指導介入ができる 		
学習方略	講義形式(120分)		
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト		
参考図書			

2020年度 愛知県歯科衛生士会研修会 シラバス

研修タイトル	<p style="text-align: center;"><u>症状や現状把握ができる！</u> <u>レントゲン、CT、MRIなどの画像読影方法</u></p>				
講師	小林義和				
日程・時間数	12月 13日	120分	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">日衛単位</td> <td style="text-align: center;">A-a-II-D(2単位)</td> </tr> </table>	日衛単位	A-a-II-D(2単位)
日衛単位	A-a-II-D(2単位)				
一般目標	<p>口腔内の病巣やCT、MRIを含めた頭頸部領域の画像の見方を理解し、歯科衛生士がスクリーニングレベルで評価できる方法を習得する</p>				
行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1)う蝕、歯周病および顎骨に生じる病変（嚢胞、腫瘍、炎症等）のエックス線所見を概説できる 2)CTおよびMRIの原理と特徴を理解し、説明ができる 3)CTやMRIの頭頸部領域の解剖について理解することができる 4)骨、軟組織の評価の違いを理解することができる 				
学習方略	<p>講義形式(120分)</p>				
学習評価 (人材育成研修生)	<p>プレ・ポストテスト</p>				
参考図書等					

2020年度 愛知県歯科衛生士会研修会 シラバス

研修テーマ	<u>日常臨床で知っておきたい</u> <u>全身疾患と薬剤の知識</u>		
講師	心疾患:水草あゆみ 脳血管疾患:永田千里 神経・筋変性疾患:松永奈津希 認知症:永田千里		
日程・時間数	未定 240分	日衛単位	C-c-III-C (4単位)
一般目標	歯科衛生士として基本的な臨床医学の知識と主要な疾患について理解を深め、あらゆる現場に勤務する歯科衛生士の日常臨床において、各疾患を有する患者に必要な配慮、リスク管理を考慮することができる。		
行動目標	1)心疾患、脳血管疾患、神経・筋疾患、認知症それぞれの病態生理が理解され、説明できる。 2)病態の診断方法や治療方法が理解され、説明できる。 3)治療に使用される薬剤の特徴、副作用等を理解し、説明できる。 4)疾患の経過や予後が理解され、説明できる。 5)歯科介入時に留意すべき疾患と偶発症の予防が説明できる。		
学習方略	講義形式 (心疾患、脳血管疾患、神経・筋変性疾患、認知症 各60分)		
学習評価 (人材育成研修生)	プレ・ポストテスト		
参考図書			